

1. 懇談会の目的

近年各地で水害や地震、豪雪などの想定を越える未曾有の激甚な災害が頻発しており、行政に対して危機管理のあり方が改めて問われている。これらの災害への対処にあたっては、人力による対応から、専門業者の技術力や機械力をフルに活用した活動が望まれるところである。

このため、激甚な災害を経験された地方自治体、ボランティアグループ、専門業者の貴重な経験を生かし、今後実施可能と考えられる災害時の建設機械等を活用した対応手段、具体的には、災害発生時の「防災」、「減災」、「復旧」各場面における、適切かつ円滑な災害対応活動を可能とするために必要となる建設機械等とその利用体制、官民の役割分担を明確にすることにより、災害対処・復旧支援のあり方について提言を行うものである。

2. 懇談会の実施内容

- 災害対策に従事された地方自治体、ボランティアグループの方々の経験を通じて課題等を整理し、災害時のニーズをとりまとめる。
- 災害時に利活用可能な専門業者の技術力をとりまとめる。
- 適切かつ円滑な災害対応活動を可能にするために必要となる建設機械等とその利用体制、官民の役割分担の検討

3. 今後の予定

この懇談会では、毎回、災害ボランティアや災害支援活動に関わった有識者、専門業者及び学識経験者から基調となる話題を提供していただき、討論、意見交換を進めることとしており、平成18年度内に建設機械等による災害対処復旧支援のあり方について提言を取りまとめる予定である。